



特集 平成 26 年度予算 一施政方針一

町の将来の姿が 形として見えてくる年

3月定例議会で宮内町長が平成 26 年度の施政方針を発表しました。施政方針には、1年間をかけてどのような取り組みを行うのか、まちづくりの方向性が示されています。

今回の特集では、その概要と平成 26 年度の予算の内容を紹介します。

将来にわたり、活力あるまちづくりを続けていくために

岡垣町では、増加を続けてきた人口が平成 22 年 11 月をピークに、減少に転じています。高齢化率も上昇を続けており、今後の少子高齢化社会に向けて、社会保障給付費の負担増だけでなく、地域経済の停滞、コミュニティの担い手不足などの課題にも対応していかなくてはなりません。

将来にわたり、活力あるまちづくりを続けていくために定住人口と交流人口の増加が必要であり、このことを平成 26 年度の重点課題として捉え、新たに具体的な施策を展開します。

創る

― 将来への基盤整備 ―

平成 26 年度は「第 5 次総合計画 前期基本計画」の 4 年目の年となります。今年度は、将来への基盤整備を行うために、引き続き JR 海老津駅南側道路などの整備事業を着実に進めます。また、平成 22 年度の外部評価の内容を検証した結果として、情報プラザ人の駅やいこいの里入浴施設の運用改善の取り組みを進め、将来にわたる施設の維持を図ります。



安全で住みよいまちづくりを目指し、JR 海老津駅南側の海老津・白谷線道路や自由通路の開通に向けた工事を引き続き行い、着実に事業を進めていきます。



住民福祉の向上、災害時の避難所として入浴施設が必要なことから存続し、運営面を改善するために、維持管理経費削減に向け木質バイオマスボイラーを導入します。



より多くの住民の交流・にぎわいを創出するため、一部用途を変更しブックカフェの設置を行い、平成 27 年 4 月からの運用開始に向けて、準備を進めます。

将来にわたり、
活力あるまち
づくりを続けて
いくために

つくる
創る
伝える
呼び込む



伝える

— 効果的な情報発信 —

波津海水浴場で整備を進めている観光拠点施設（岡垣町観光ステーション北斗七星）を拠点に町の魅力を町内外に向けて情報発信することで、交流人口の増加につなげます。また、広報機能を強化するために町の組織変更を行いました。

呼び込む

— 魅力ある事業の推進 —

定住人口の増加に向けて、子育て世代に対する定住支援や住宅用太陽光発電設備などの補助、子ども医療制度の対象年齢拡大の継続、岡垣サンリーアイの事業などに取り組みます。住みたい住み続けたいまちづくりを推進し、町外からの人口誘導を図ります。

第5次総合計画に掲げる町の将来像を実現するためにこれらの取り組みを進めていきます。

取り組みを進めるためには予算が必要です。次のページでは平成26年度予算の概要を紹介します。



■子育て世代への定住支援

子育て世代で住宅を取得する人への補助金交付や転入者への特産物のプレゼント、内浦・戸切小学校区で民間の賃貸住宅へ入居する人へ家賃を補助するなどの支援を行います。



■広報・広聴機能の強化

町の行政情報、町の魅力や資源などの情報を一元化し、広報紙、ホームページでの発信や、イメージキャラクターを活用したPRなどによりタイムリーな情報を効果的に町内外へ発信します。



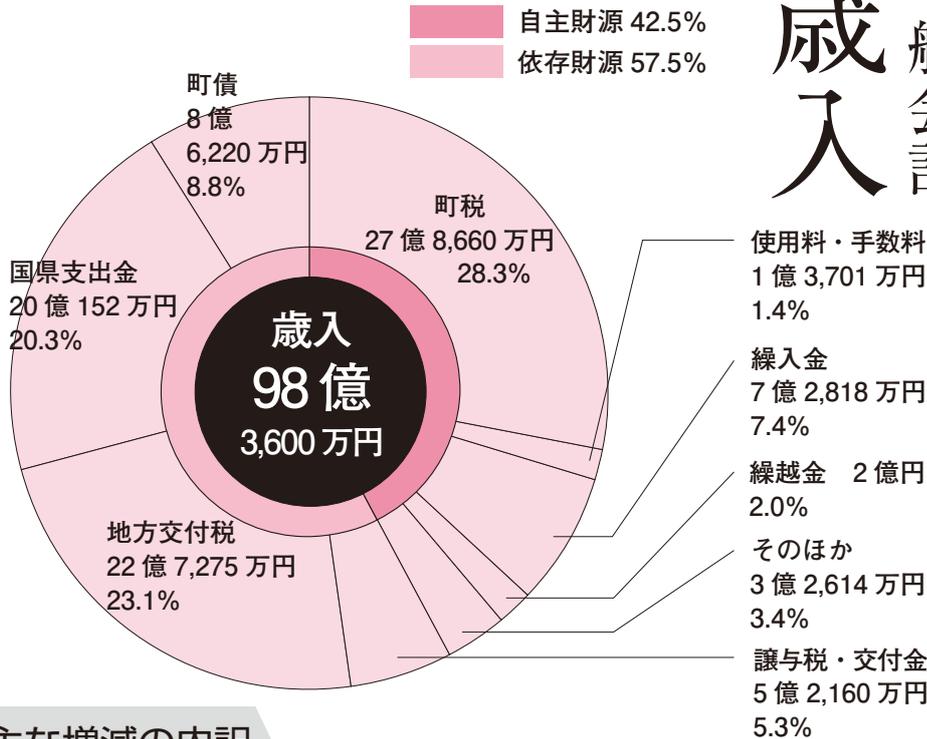
■観光拠点施設の整備

岡垣町観光ステーション北斗七星には、多目的休憩所や温水シャワー、貸自転車施設、飲食コーナー、岡垣町観光協会事務所が設置されます。オープンは7月上旬を予定しています。

平成 26 年度

予算

一般会計 歳入



予算総額は昨年度より
9.4%増の98億3千600万円。
ここではその概要を紹介します。

主な増減の内訳

- 町税**
 個人住民税、法人住民税が減少する見込みなどから、前年度より 3,421 万円 (1.2%) 減少しています。
- 譲与税・交付金**
 主に消費税率の引き上げにより、地方消費税交付金が前年度より 1 億 400 万円 (47.3%) 増加しています。増加分は子ども医療費など福祉・医療事業に使用します。
- 地方交付税**
 国の計画や平成 25 年度の状況を踏まえて、前年度より 1,999 万円 (0.9%) 減少しています。
- 国庫支出金**
 臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の支給、東部保育所の民間移譲による運営費負担金の増加などから、前年度より 3 億 566 万円 (29.3%) 増加しています。

その他の会計

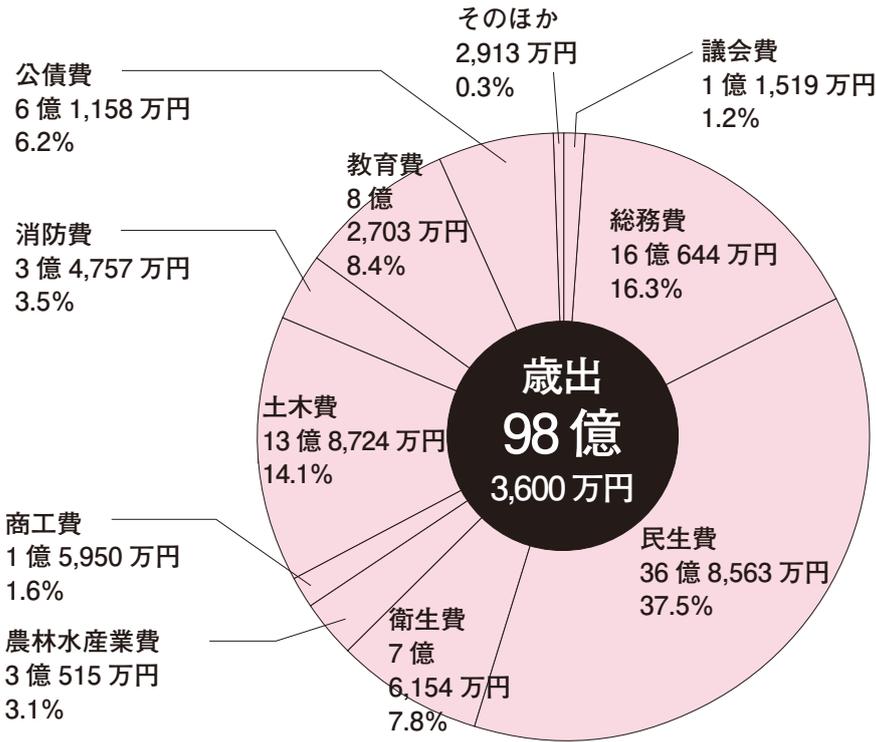
特別会計

会計名	予算額
国民健康保険事業	40 億 7,367 万円
後期高齢者医療	5 億 1,380 万円
住宅新築資金等貸付事業	80 万円

公営企業会計

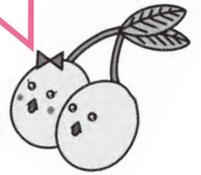
会計名	予算額	
水道事業	収益的収入	5 億 3,099 万円
	収益的支出	5 億 8,302 万円
	資本的収入	1 億 9,930 万円
	資本的支出	4 億 1,459 万円
下水道事業	収益的収入	10 億 1,574 万円
	収益的支出	9 億 8,087 万円
	資本的収入	5 億 7,664 万円
	資本的支出	8 億 3,834 万円





歳出 一般会計

総務費・民生費・教育費が前年度の予算と比べて増加しています。



主な増減の内訳

■総務費

情報プラザ人の駅の用途変更や庁舎の耐震補強工事、定住促進事業などを行うために、前年度より 1 億 3,742 万円 (9.4%) 増加しています。

■民生費

臨時福祉給付金や子育て世帯臨時特例給付金の支給、いこいの里入浴施設への木質バイオマスボイラー導入、子ども医療費の対象拡大による費用などが増えたことから、前年度より 4 億 8,093 万円 (15.0%) 増加しています。

■教育費

小中学校の施設整備を行うことに加え、私立幼稚園への就園奨励補助を拡大したことなどから、前年度より 6,437 万円 (8.4%) 増加しています。

主な事業

まちづくりの3つの将来像ごとに取り組む事業を紹介します。

輝き

- 商工業者の資金調達の支援 (5,250 万円)
- 農業機械や農業施設購入の支援 (3,060 万円)
- 観光の推進 (2,262 万円)
- 浄化槽設置に対する補助 (2,062 万円)
- ため池の整備 (2,010 万円)
- 商工会の活性化支援 (1,313 万円) など

安心安全

- JR 海老津駅南側道路などの整備 (5 億 9,770 万円)
- 介護保険事業の実施 (4 億 8,148 万円)
- 町道や排水路の維持補修や整備 (1 億 4,756 万円)
- いこいの里入浴施設への木質バイオマスボイラー導入経費 (1 億 4,299 万円) など

心の豊かさ

- 児童手当の支給 (5 億 3,621 万円)
- 保育所などの運営 (3 億 271 万円)
- 岡垣サンリーアイの運営 (2 億 9,670 万円)
- 子どもの医療費の負担 (1 億 780 万円)
- 私立幼稚園への就園支援 (9,361 万円) など